

骨 材 試 験 成 績 書

令和 7年 10月度

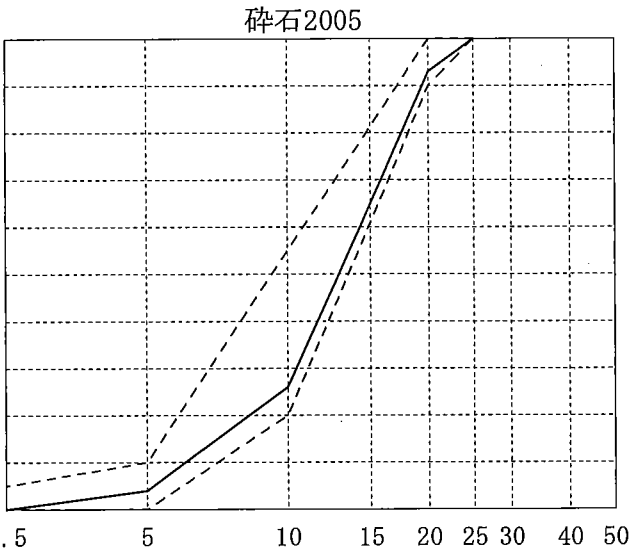
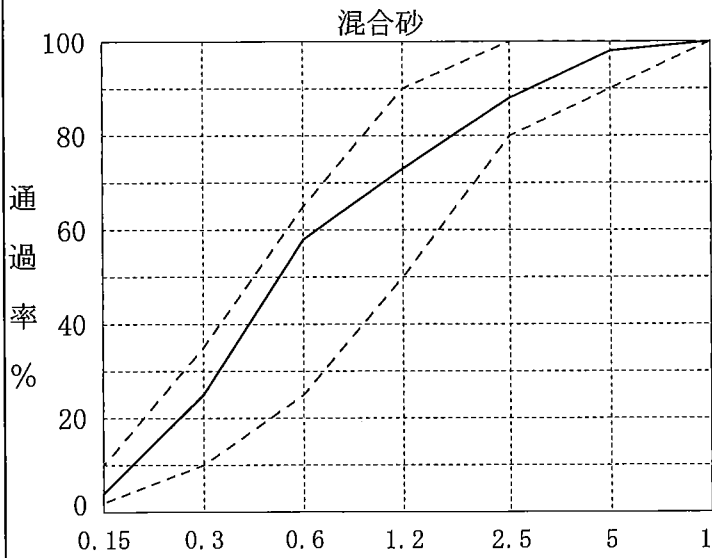
郡家コンクリート工業株式会社



	産地品名	骨材名称
骨材①	岡山県津山市加茂町知和	砕砂
骨材②	鳥取市湖山地区	砂
骨材③	鳥取県米子市	鋳物廃砂
骨材④	岡山県津山市加茂町知和	砕石2005

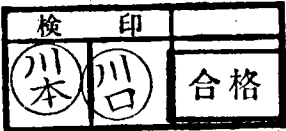
試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)				
最大寸法 (mm)	5	1.2	1.2	20	ふるい (mm)	混合砂	砕石2005		
表乾密度 (g/cm ³)	2.66	2.59	2.97	2.66	150				
絶乾密度 (g/cm ³)	2.61	2.55	2.94	2.62	100				
吸水率 (%)	2.01	1.59	0.90	1.52	80				
微粒分量 (%)	2.70	1.10	1.89	0.37	60				
粘土塊量 (%)		0.02			50				
実積率 (%)				61.4	40				
粒形判定実積率 (%)	57.6		58.7	59.6	30		100		
有機不純物 (標準色よりも)		淡い			25			93	
塩化物量 (%)		0.000			20			65	
密度1.95に浮く粒子 (%)					15	100	26		
すりへり減量 (%)				15.3	10	98	4		
安定性 (%)	6.3	0.9	2.6	7.7	5	88	0		
					2.5	73			
					1.2	58			
					0.6	25			
					0.3	4			
					0.15				
					粗粒率	2.54	6.77		

粒 度 曲 線



ふるいの公称目開き (mm)

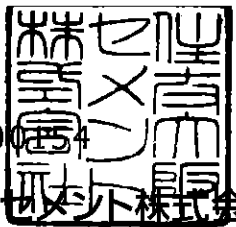
備考:



郡家コンクリート工業株式会社

セメント試験成績表

№ 0800254



2025 年 10 月度



住友大阪セメント株式会社

品 質		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高 炉 セ メ ン ト B 種 JIS R 5211			
		JIS 規格値	試 験 成 績			JIS 規格値	試 験 成 績			JIS 規格値	試 験 成 績		
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)
密 度 g/cm ³		-	3.15	-	-	-	3.13	-	-	-	3.04	-	-
比 表 面 積 cm ² /g		2500以上	3280	71	-	3300以上	4500	66	-	3000以上	4040	72	-
凝 結	水 量 %	-	27.4	-	-	-	29.5	-	-	-	29.9	-	-
	始 発 h-min	60min以上	2-07	-	(1-55)	45min以上	1-56	-	(1-15)	60min以上	3-06	-	(2-55)
	終 結 h-min	10h以下	3-21	-	4-40	10h以下	2-49	-	3-15	10h以下	4-43	-	5-55
安 定 性		良	良	-	-	良	良	-	-	良	良	-	-
圧 縮 強 さ N/mm ²	1d	-	-	-	-	10.0以上	28.1	1.28	-	-	-	-	-
	3d	12.5以上	31.5	1.34	-	20.0以上	47.5	1.49	-	10.0以上	22.1	1.35	-
	7d	22.5以上	45.7	1.68	-	32.5以上	57.3	1.58	-	17.5以上	35.6	1.56	-
	28d	42.5以上	61.4	1.75	-	47.5以上	67.8	1.75	-	42.5以上	60.1	1.78	-
水 和 熱 J/g	7d	-	333	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28d	-	382	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化 学 成 分 %	酸化マグネシウム	5.0以下	0.99	-	1.70	5.0以下	0.80	-	1.50	6.0以下	3.25	-	3.69
	三 酸 化 硫 黄	3.5以下	2.47	-	2.58	3.5以下	2.95	-	3.22	4.0以下	1.88	-	2.14
	強 熱 減 量	5.0以下	2.47	-	2.66	5.0以下	1.18	-	1.31	5.0以下	2.07	-	2.20
	全 ア ル カ リ	0.75以下	0.56	-	0.63	0.75以下	0.44	-	0.64	-	-	-	-
	塩 化 物 イ オ ン	0.035以下	0.021	-	0.024	0.02以下	0.010	-	0.015	-	0.018	-	-

備考:

高炉セメントB種

1. ベースセメントの全アルカリ (%) : 0.56

2. 高炉スラグの分量 (%) : 40~45

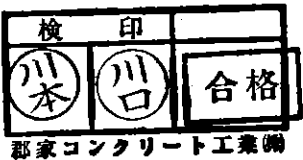
全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大値

普通ポルトランドセメント (%) : 0.63

早強ポルトランドセメント (%) : 0.64

- 試験方法は、JIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203 及び JIS R 5204 による。なお JIS R 5202 は本体法による。
- 安定性の試験成績は、パット法による。
- 28d の圧縮強さ及び水和熱は、前月度の値を示す。

お問い合わせその他ご連絡先:

住友大阪セメント株式会社
広島支店〒732-0827 広島市南区稲荷町4番1号
(広島稲荷町NKビル7階)
TEL(082)577-7641(代)
岡山営業所 TEL(086)225-5785

郡家コンクリート工業㈱

郡家コンクリート工業(株) 私都工場 御中

2025年 7月度～2025年12月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

種類 高性能減水剤 (I種) ✓
 商品名 シーカ ビスコクリート ACE 390 (100%) ✓

1. コンクリートの試験結果

項 目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減 水 率 %	12 以上	15 ✓	15 ✓	
	ブリーディング量の比 %	— 以下	—	—	
	ブリーディング量の差 cm ³ /cm ³	— 以下	—	—	
	凝結時間の差 分	始 発	+90 以下	-30 ✓	-30 ✓
		終 結	+90 以下	-35 ✓	-50 ✓
	経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—
		空気量 %	— 以内	—	—
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	—
		材齢2日 (5℃)	— 以上	—	—
		材齢7日	115 以上	133 ✓	149 ✓
		材齢28日	110 以上	119 ✓	135 ✓
	長さ変化比 %	110 以下	94 ✓	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	— 以上	— ✓	— ✓	

注記1. 1m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 $7.00\text{ kg}/\text{m}^3$ 性能確認試験 $7.00\text{ kg}/\text{m}^3$

注記2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。

注記3. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月 に ホゾリスソリューションズ ㈱技術開発センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl^-)量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1m^3 当たりの化学 混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン(Cl^-)量	$0.02\text{ kg}/\text{m}^3$ 以下	$0.00\text{ kg}/\text{m}^3$	0.00 % ✓	$7.00\text{ kg}/\text{m}^3$	$0.00\text{ kg}/\text{m}^3$ ✓
全 アル カ リ 量	$0.30\text{ kg}/\text{m}^3$ 以下	$0.03\text{ kg}/\text{m}^3$	0.4 % ✓	$7.00\text{ kg}/\text{m}^3$	$0.03\text{ kg}/\text{m}^3$ ✓

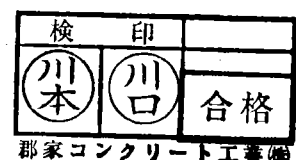
注記1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。

注記2. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月 に ホゾリスソリューションズ ㈱技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密 度 (g/cm^3 , 20℃)	1.01 ~ 1.07	1.03 ✓

注記. この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。





試験報告書

株式会社 ふじもと組 殿 ✓
岡山県津山市加茂町小瀬29-1試験品内容：[種 別] JIS A 5308:2024 附属書JA「レディミストコンクリート用骨材」
JIS A 5005:2020「コンクリート用砕石及び砕砂」
粗骨材 コンクリート用砕石 2005 A (岩質：安山岩)[大 き さ] 20～5mm ✓
[採 取 日] 2024年11月29日 ✓
[産 地] 岡山県津山市加茂町知和 ✓
[探 取 場 所] ストックヤード ✓
[製 造 業 者] (株)ふじもと組 ✓

試験項目：1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法) ✓

受領日 (試料持込日)：2024年 12月 12日

試験日：2024年 12月 12日 ～ 2025年 6月 28日 ✓

試験結果：次頁以降の通り

特記事項：—

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルデクノ試験所 試験室
(注) 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対しての結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 6月 27日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西マテリアルデクノ試験所

技術管理者 那良 時義

この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)

(1) 試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。

- ・粒度調整した代表試料の粒度分布：粒度区分A
- ・湿度95%以上を確保した手段：吸取紙による被覆及び容器底面の水張り

(2) 使用したセメント

- ・種別：普通ポルトランドセメント
- ・販売会社名：一般社団法人 セメント協会
- ・酸化ナトリウム(Na₂O) 0.27 %
- ・酸化カリウム(K₂O) 0.38 %
- ・全アルカリ量(R₂O) 0.52 %
- ・水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量：1.2 %

(3) 判定基準

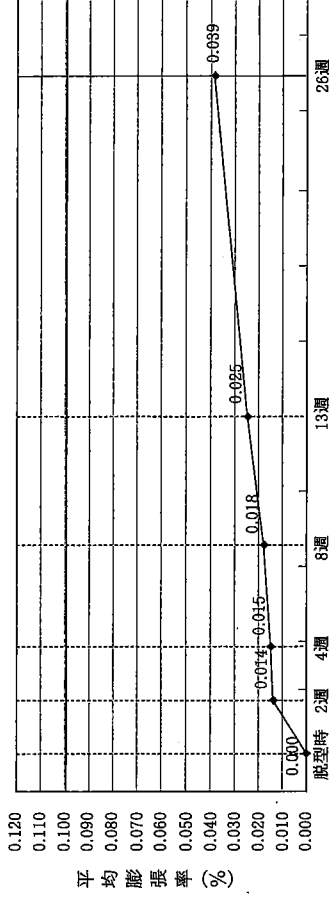
骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、供試体3本の平均膨張率が、測定材齢26週で0.100%未満の場合は、「無害」とし、0.100%以上の場合は「無害でない」とする。

[備考]

なお、測定材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で、「無害でない」としてもよい。
測定材齢13週で0.050%未満のものは、その時点で、「無害」と判定してはならず、測定材齢26週まで試験を続けた後に判定しなければならぬ。

(4) 試験結果

膨張率 (%)		測定材齢		脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	判定
		試験No.								
膨張率 (%)	1		—	0.015	0.015	0.018	0.025	0.040	無害 合	
	2		—	0.014	0.016	0.019	0.026	0.039		
	3		—	0.013	0.014	0.017	0.023	0.038		
	平均		0.000	0.014	0.015	0.018	0.025	0.039		
外観観察		異常なし 異常なし 異常なし 異常なし 異常なし 異常なし								



以上

一般財団法人 日本品質保証機構



試験 報告 書

受領日 2025年 5月 27日
No. 6003-25000123

試験品内容: [種 別] JIS A 5308:2024 附属表JA「V型」シスコンクリート用骨材

[採取 日] 2025年5月26日
[採取 地] 鳥取市湖山町地内
[採取 場所] 鳥取市湖山町地内
[製造 業者] (有)相互商事
鳥取市湖山町北3丁目468

試験 項目: 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法) ✓

受領日 (試料持込日): 2025年 5月 27日

試験 日: 2025年 5月 27日 ~ 2025年 6月 5日

試験 結果: 次頁以降のとおり

特 記 事 項: -

試験実施場所: 一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルテクノ試験所 試験室
(注) 1. 上記試験品は、試験中に発生した不具合等によるものであり、保証書に記載されたものではありません。
2. 試験品は、試験中に発生した不具合等によるものであり、保証書に記載されたものではありません。
3. 試験結果は当該試験品に對しての結果であり、製造するすべての製品に適用されるものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 6月 20日



部室 コンクリート工業務

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西マテリアルテクノ試験所

所 長

井 上

技術管理者 那良 時義

この試験報告書の記載、一部分の増量をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)

(1) 試験方法 JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」による。

- (2) 判定基準
- a) 溶解シリカ量(Si)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Si)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満の場合、その骨材を「無害」と判定し、溶解シリカ量(Si)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を「無害でない」と判定する。
- b) 溶解シリカ量(Si)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を「無害」と判定する。
- c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

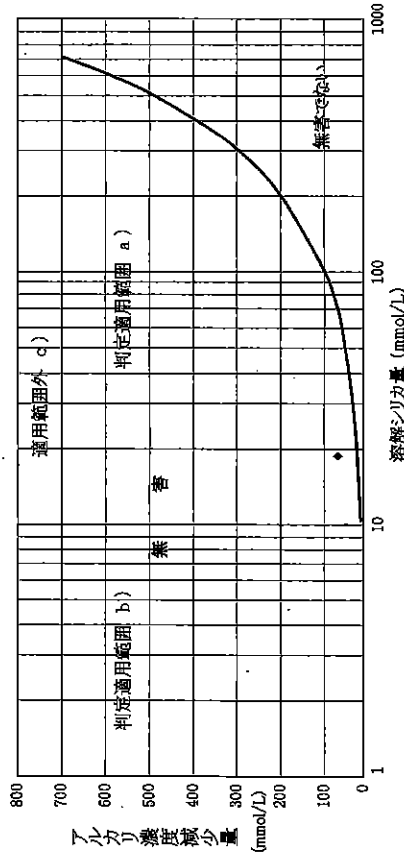
(3) 試験結果

試料 番号	試験 時間 (hr)	アルカリ濃度減少量 (Rc) (mmol/L)			溶解シリカ量 (Si) (mmol/L)			判定
		V ₁ (mL)	V ₂ (mL)	Rc	吸光度	A	Sc	
		平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	
1	25.00	20	18.40	65	0.160	2.72	19	無害
2	25.00	20	18.35	68	0.162	2.75	20	
3	25.00	20	18.40	65	0.160	2.72	19	
ブランク V ₃ (mL)= 19.70		希釈倍率 n= 10						

$$Rc = \frac{20 \times 0.05 \times F}{V_1} (V_3 - V_2) \times 1000$$
$$Sc = 20 \times n \times A \times \frac{1}{28.09}$$

Rc: アルカリ濃度減少量
F: 0.05mol/L塩酸標準液のフクタール=1.003
V₁: 希釈試料溶液からの分取量
V₂: 希釈試料溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量
V₃: 希釈した空試験溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量

(参考)





070239JP

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

【モルタルバー法】

JNLA登録試験センター
ベルテックス株式会社 試験センター
福岡県福岡市東区東区
〒815-0892 福岡県福岡市東区東区
TEL:0778-62-1000 FAX:0778-62-7723
発行責任者 センター長 小林 宏成

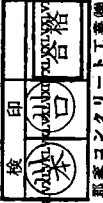
試験番号 A-24-5-0122-3 1/2
受付日 令和 6 年 12 月 13 日
発行日 令和 7 年 6 月 24 日

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

依頼者	会社名	鳥取県コンクリート製品協同組合
所在地	所在地	鳥取県倉吉市東郷町12番地
試験日	令和 6 年 12 月 23 日	～ 令和 7 年 6 月 24 日
種類 (岩種)	産地	鳥取県西伯郡大山町
採取日	令和 6 年 12 月 10 日	搬入日 令和 6 年 12 月 12 日
採取場所	採取者	高原 雅彦
試験方法	JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。 ※試験に用いたセメント 種別 : 普通ポルトランドセメント 製造会社名 : 杜団法人 セメント協会 酸化ナトリウム(Na ₂ O) : 0.27 % 酸化カリウム(K ₂ O) : 0.38 % 全アルカリ量 : 0.62 % ※水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量 : 1.2 %	
試験実施場所	ベルテックス株式会社 試験分析センター 福岡県福岡市東区東郷町12番地	
試験結果	モルタルバー法による試験体の膨張率 単位: %	
	供試体番号	膨型時 2週 4週 8週 13週 26週
	1	0.007 0.011 0.014 0.017 0.018
	2	0.006 0.011 0.014 0.017 0.018
	3	0.007 0.011 0.014 0.017 0.018
判定基準	平均値	0.000 0.007 0.011 0.014 0.017
	外観観察結果	良 良 良 良 良
判定	① 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%未満の場合 : 無害 ② 8本の平均膨張率が、26週後に0.100%以上の場合は : 無害でない ※備考 材齢13週後に0.050%以上の膨張率を示した場合は、その時点で無害でない としてもよい。その場合、26週の測定を省略できる。材齢13週で0.050%未満の場合は26週まで試験を続けなければならない。	
備考	「JIS A 5006 6.6アルカリシリカ反応性」に基づき、本試験結果は、同一原石により製造された 砕石および砕砂に用いることが出来る。 ※モルタルバー法による膨張率を裏面に示す。	

＜本書の取扱いについて＞

本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
本書の内容を転載する場合は、文書により事前に本所の承認を得るようして下さい。

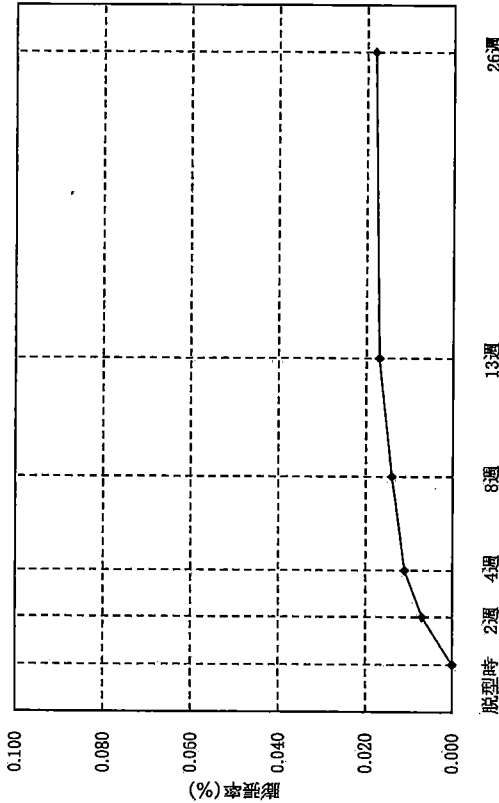


検査者 小林 宏成
試験担当者 株田 直也
技術管理者 株田 直也

鳥取県コンクリート工業会

参考資料

試験番号 A-24-5-0122-3 2/2



材齢(週)

アルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)による膨張率

コンクリート中の塩化物量										検印欄					
合否基準値 0.30 kg/m ³ 以下										Q C M	試験係				
対象期間 令和 6年11月 1日 ~ 令和 7年10月 1日										川本	川口				
No.	日付	測定値				平均	合否	No.	日付	測定値				平均	合否
1	11/ 1	0.032	0.032	0.036	0.033	合									
2	12/ 2	0.031	0.034	0.032	0.032	合									
3	1/ 7	0.035	0.032	0.031	0.033	合									
4	2/ 1	0.034	0.030	0.029	0.031	合									
5	3/ 1	0.036	0.031	0.034	0.034	合									
6	4/ 1	0.035	0.033	0.032	0.033	合									
7	5/ 1	0.032	0.029	0.034	0.032	合									
8	6/ 2	0.038	0.038	0.040	0.039	合									
9	7/ 1	0.042	0.046	0.043	0.044	合									
10	8/ 1	0.033	0.029	0.031	0.031	合									
11	9/ 1	0.035	0.032	0.032	0.033	合									
12	10/ 1	0.031	0.029	0.034	0.031	合									
データ数 n = 12 標準偏差 s = 0.004 $\bar{x}$ = 0.034															

摘要欄	
-----	--